



# 平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 エンチャー

コード番号 8208 URL <http://www.encho.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 遠藤 健夫

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長

(氏名) 奥野 孝

TEL 0545-57-0850

四半期報告書提出予定日 平成29年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	30,080	△4.6	558	11.8	399	25.7	254	13.9
28年3月期第3四半期	31,516	△3.0	499	56.3	318	86.2	223	184.6

(注)包括利益 29年3月期第3四半期 317百万円 (54.2%) 28年3月期第3四半期 205百万円 (123.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	18.58	—
28年3月期第3四半期	16.30	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	39,709	9,219	23.2	674.03
28年3月期	39,223	9,039	23.0	660.82

(参考)自己資本 29年3月期第3四半期 9,219百万円 28年3月期 9,039百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
29年3月期	—	5.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成29年 3月期の連結業績予想(平成28年 4月 1日～平成29年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,440	0.2	650	52.9	400	91.0	230	153.1	16.81

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.3「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期3Q	13,714,995 株	28年3月期	13,714,995 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

29年3月期3Q	36,496 株	28年3月期	35,843 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	13,679,021 株	28年3月期3Q	13,679,612 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業の収益改善や雇用環境の改善が続く中、景気は緩やかな回復基調で推移したものの、海外での英国のEU離脱や米国の政策動向に対する懸念等により、先行きは不透明な状況となっております。

ホームセンター業界におきましては、天候不順の影響や消費者の節約志向などにより個人消費は伸び悩み、加えて異業種・ネット販売も含めた販売競争もあり、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社グループでは、地域の人々の快適な住まい・暮らしをサポートする企業グループを目指し、地域に根ざした品揃えの最適化や陳列の見直しなどによる売場の活性化及び成長事業の拡大を図るとともに、新たなサービスとして、法人・個人事業者へ向けたクレジットカード「エンチャープロカード」と、現金購入のお客さまへ向けた現金専用ポイントカード「eポイントカード」を開始し、顧客サービスの充実化と新規顧客の獲得を図りました。また、全店舗において在庫の適正化を推進し収益体質の改善に取り組みました。

店舗の状況といたしましては、平成28年11月に静岡県静岡市駿河区にある「ジャンボエンチャー静岡店」を「世代を問わない暮らしの楽しさを発見できる生活応援店舗」をコンセプトに、増床改装いたしました。インテリア収納・家庭用品・文具等が強化された「生活館」、ベランダ・室内園芸商材を強化した「園芸館」、一般向けのDIY商材の品揃えを強化した「DIY館」と売場を3つのゾーンに区分し、より顧客満足度を高める差別化された店舗づくりに努めました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、長引く消費マインドの低迷や天候不順等の影響もあり、30,080百万円（前年同期比95.4%）となりました。利益につきましては、引き続きコスト削減を推進した結果、営業利益558百万円（同111.8%）、経常利益399百万円（同125.7%）、親会社株主に帰属する四半期純利益254百万円（同113.9%）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ485百万円増加し、39,709百万円となりました。

流動資産は14,527百万円となり、前連結会計年度末に比べ305百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金の増加806百万円、商品の減少533百万円によるものであります。固定資産は25,181百万円となり、前連結会計年度末に比べ180百万円増加いたしました。これは主に土地の増加689百万円、有形固定資産のその他の減少113百万円、敷金及び保証金の減少254百万円によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ305百万円増加し、30,489百万円となりました。

流動負債は16,661百万円となり、前連結会計年度末に比べ183百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金の増加1,504百万円、短期借入金の減少1,709百万円、流動負債のその他の増加375百万円によるものであります。固定負債は13,828百万円となり、前連結会計年度末に比べ122百万円増加いたしました。これは主に社債の増加391百万円、固定負債のその他の減少267百万円によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ180百万円増加し、9,219百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加117百万円によるものであります。この結果、自己資本比率は23.2%（前連結会計年度末は23.0%）となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年5月13日発表の予想から修正はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物付属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,543	3,350
受取手形及び売掛金	765	921
商品	10,250	9,716
仕掛品	25	35
貯蔵品	26	21
繰延税金資産	95	69
その他	517	414
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	14,222	14,527
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,507	7,457
土地	11,767	12,456
建設仮勘定	28	28
その他(純額)	1,125	1,012
有形固定資産合計	20,430	20,955
無形固定資産	89	89
投資その他の資産		
投資有価証券	462	538
長期貸付金	1,176	1,101
敷金及び保証金	2,032	1,778
繰延税金資産	330	289
その他	487	436
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	4,482	4,137
固定資産合計	25,001	25,181
資産合計	39,223	39,709
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,754	7,258
短期借入金	8,484	6,774
未払法人税等	81	95
その他	2,157	2,533
流動負債合計	16,478	16,661
固定負債		
社債	—	391
長期借入金	10,340	10,424
退職給付に係る負債	801	710
資産除去債務	399	405
その他	2,164	1,896
固定負債合計	13,706	13,828
負債合計	30,184	30,489

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,902	2,902
資本剰余金	3,435	3,435
利益剰余金	2,685	2,802
自己株式	△15	△16
株主資本合計	9,007	9,124
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	66	119
退職給付に係る調整累計額	△34	△25
その他の包括利益累計額合計	31	94
純資産合計	9,039	9,219
負債純資産合計	39,223	39,709

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	31,516	30,080
売上原価	22,568	21,470
売上総利益	8,948	8,609
営業収入	881	845
営業総利益	9,830	9,455
販売費及び一般管理費	9,330	8,897
営業利益	499	558
営業外収益		
受取利息	19	17
受取配当金	12	13
その他	39	25
営業外収益合計	72	55
営業外費用		
支払利息	165	137
シンジケートローン手数料	79	52
その他	7	23
営業外費用合計	253	213
経常利益	318	399
特別利益		
投資有価証券売却益	37	—
特別利益合計	37	—
特別損失		
減損損失	7	—
店舗閉鎖損失	—	18
出店計画中止損	2	—
特別損失合計	10	18
税金等調整前四半期純利益	345	381
法人税、住民税及び事業税	34	71
法人税等調整額	88	55
法人税等合計	122	126
四半期純利益	223	254
親会社株主に帰属する四半期純利益	223	254



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	223	254
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3	53
退職給付に係る調整額	△13	9
その他の包括利益合計	△17	63
四半期包括利益	205	317
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	205	317
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。